

平成25年度「みんなの審査会」～市民参加型事業評価～審査結果詳細

事業番号	3-③	事業名	緊急通報システム事業			
所管	健康福祉	局	長寿社会	部	高齢施策推進	課
【事業内容】						
高齢者等宅に緊急通報装置を設置する。緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。						
総コスト(千円)	(平成24年度決算額)	52,500千円	(平成25年度予算額)	55,244千円		

【市民審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】											
＜市民審査員＞					＜検討委員(参考意見)＞						
今後の方向性	事業の方向性	拡充		2	4	今後の方向性	事業の方向性	拡充		1	1
		現状維持		5				現状維持		3	
		縮小						縮小			
		廃止						廃止			
			ゼロ	縮小	現状維持			拡大		ゼロ	縮小
公金投入の方向性					公金投入の方向性						

【今後の方向性】《事業の方向性—公金投入の方向性》を選択した理由

《拡充—現状維持》

- ・大変だとは思いますが、出来るだけ、データを整理していただいた上で事業内容の必要性を定量的に説明していただければと思います。
- ・自分も含め高齢者が増えていくので安心して生活できるシステムで大いに推進して欲しい。
- ・行政が行うべき事業であると考えから。時代の流れに沿った事業である。

《拡充—拡大》

- ・PRを強化し、是非事業を推進していただきたいと思う。
- ・成果指標の適切な設定。
- ・65歳以上の高齢者になれば要介護2以上でなくても希望があれば、緊急通報システムに入り易くして欲しい。隣近所の人たちも高齢者が増えていますので。
- ・システムありきではない。地域福祉活動としての活用。
- ・老人社会で多くなりますので大いに検討して安心な生活ができるようお願いします。

《現状維持—現状維持》

- ・対象者にとっては安心なシステム。他の回線の人でも使用できるように企業に開発を働き掛けてもらいたい。地域福祉力が高い地域であるとのことであるが、システムの普及と並行して、地域社会での見守りの充実に務めてもらいたい。在日、中国帰国者も高齢化しており、事業の対象に含めておいてもらいたい。
- ・システムだけでなく他の公共サービスと組み合わせ、地域全体で支える町づくりを考えていく必要があると思います。この事業だけで完結するものではなく、取り巻く事業や制度を組み込んだ全体像のサービスを示し、バランスを取りながらのサービス提供ができると良いと思いました。そういう意味でも、この事業の成果をどう考えるかによって、町づくりのあり方も変われると考えます。
- ・事業目的、方法等はまずまず適正と考えられるため、公金投入及び事業の方向性共に現状維持と判断。
- ・高齢者の為には良いと思う。近隣の人との交流を深めたり物事を頼むのは簡単にはいかないが機器の設置は簡単なので良いと思う。
- ・現状維持で。
- ・コスト面、事業の方向性を含め、特に問題が無いと思う。
- ・現状を維持して、もっと多くの方に使用してもらえるように努力した方がいいと思う。

【改善策について】(複数回答あり)		市民審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	3	1
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	1	1
	関連事業とのあり方について見直しが必要(統合や再編を含めたあり方等)	1	1
	サービス受給者の負担(受益者負担)について見直しが必要	3	1
	市以外からの財源の確保について見直しが必要	0	0
	担い手のあり方について見直しが必要	0	0
	その他	0	2
【具体的な改善策提案】《事業の方向性—公金投入の方向性》			
<p>《拡充—現状維持》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムにだけ頼るのではなく、コミュニティの力も活用できるようにするべき。まずは隣近所との付き合いから考えよう。 <p>《拡充—拡大》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担を考える。 ・負担金が少なかったらよいのですが、収入によって決められないのでしょうか。 <p>《現状維持—現状維持》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者の確保が難しい為に、設置をためらう人がいるかもしれない。地域社会で支えるという意識啓発に務め、個人の精神負担にならない仕組みの検討も必要ではないだろうか。相談については内容のデータ化に務め個人の情報提供以外で課題として認識されるものについては施策化など対応に務めていただきたい。 ・このシステムを必要にしている人としていない人の選別が必要と思います。無駄な予算を使用しないように、算出根拠を出してもらいと良いのではないのでしょうか。 ・今後、光回線や携帯電話での拡大を行うのであれば、光回線や携帯が65歳以上の人にどれだけ普及しているのか調査するべき。 ・個人負担が重いように思います。 ・高齢者がこれからもっと増えると思います。システムの導入件数が増えると大阪ガス及び消防署の対応が大変になるのでは。特に消防署は他の物件が疎かになるのでは。今後対策が必要だと思います。 ・65歳以上の方を全て対象にすれば、月額負担をとれば、回収費用も賄えるのではないか。 ・もっと宣伝すればいいかと思います。 			
【自由記入欄】			
<ul style="list-style-type: none"> ・このシステムの導入は地域力を下げることにつながらないでしょうか。どんな町づくりをするか、ビジョンがあつてのシステムの活用、事業サービスになると思います。このようなシステムが必要のない社会になると良いのかなとも思いました。 ・私自身URの高齢者物件に携わったことがあります。平成10年頃から物件を作ってきましたが、今現在物件を作っていません。詳しくは知りませんが、国からの補助が無くなったからと聞きました。高齢者がこれからはますます増えるのになぜ作らないのか。確かに、物件を作るのにコストが普通の物件よりもはるかに高くなります。是非、国及び堺市の補助を復活していただき物件を作っていただきたいと思います。他にも理由があるかと思いますが、このシステムには、市の補助はやむを得ないと思います。 ・2つのボタン以外に登録した番号へ電話できるようにすれば、機会の意味が大きくなると思う。(例えば、カンタン携帯のように) 			